

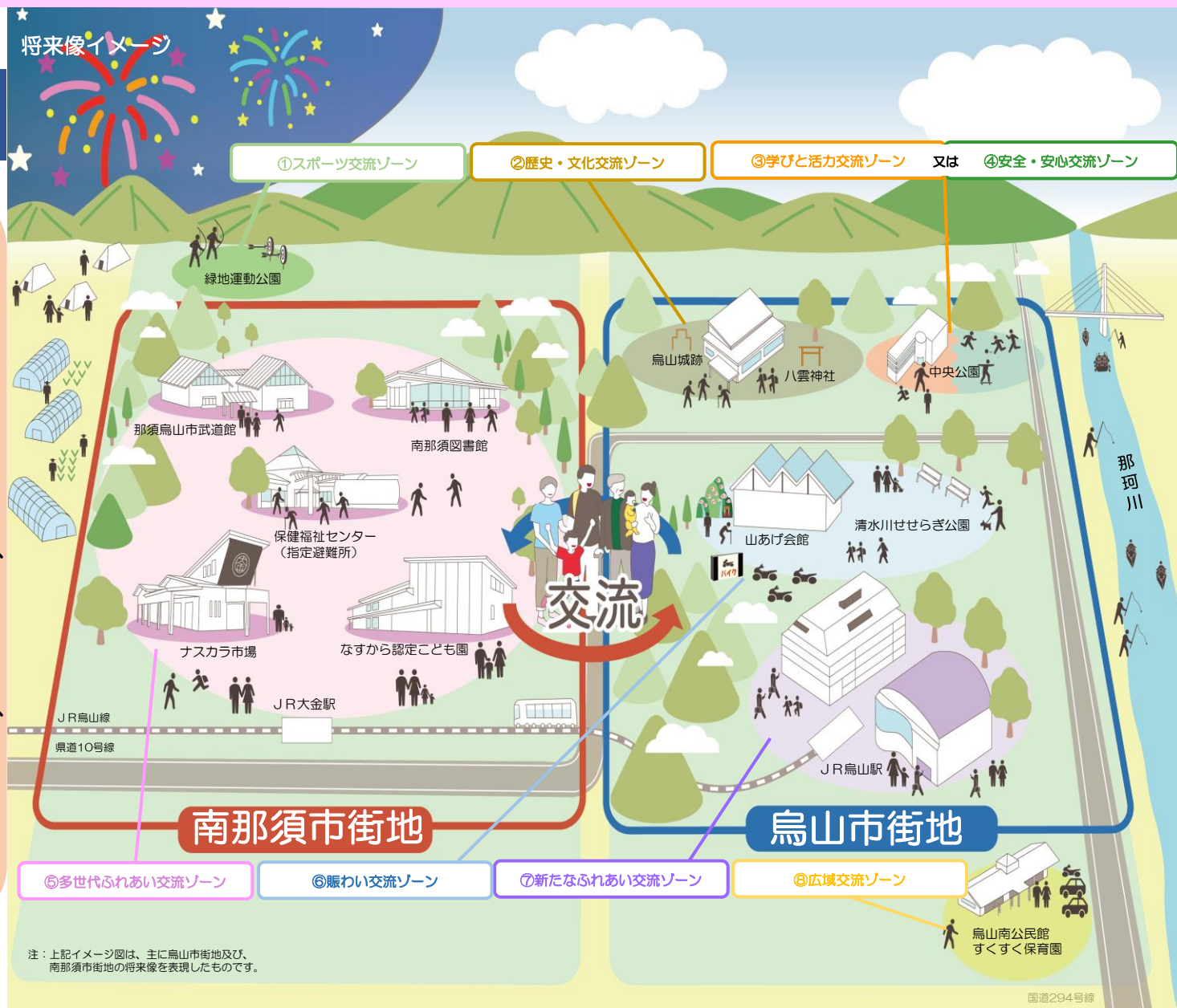
まちづくりのグランドデザイン（案） 概要版

グランドデザイン（案） 策定の背景・目的

本市では、新庁舎整備に際し、「庁舎整備検討委員会」を再組織したほか、市民やまちづくり団体等との意見交換を重ねる中で、防災やまちづくりの拠点となるべき新庁舎の優先的な整備に加え、多世代が活発に活動できる交流拠点の整備を求める意見が多く寄せられました。

また、ＪＲ烏山線の存続や、活力低下が指摘される中心市街地の活性化による新たな賑わいの創出を期待する声もありました。

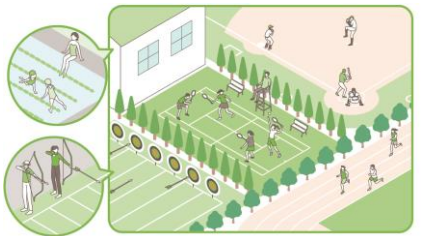
こうした市民の声を形にし、防災・まちづくりの拠点となる新庁舎と、周辺公共施設が連動した「新たなまちづくりの将来像」を示した「まちづくりのグランドデザイン（案）」を策定しました。



①スポーツ交流ゾーン
(緑地運動公園周辺)

散在する運動公園の機能を集約し、大会誘致を可能とする本格的なスポーツ拠点として整備することにより、スポーツ交流人口の増加を目指すゾーン。

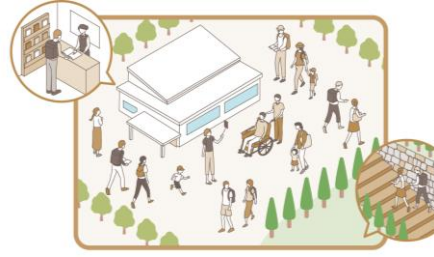
- 考えられる公共施設
- 野球場 プール テニスコート アーチERY場 陸上競技場 等



②歴史・文化交流ゾーン
(烏山城跡及び八雲神社周辺)

那須烏山市誕生のルーツでもある烏山城跡をはじめとする貴重な歴史・文化財等を活用した体験・交流による交流人口の増加を目指すゾーン。

- 考えられる公共施設
- 歴史資料館 駐車場 等



③学びと活力交流ゾーン
(中央公園周辺)

生涯にわたる多様な学びやスポーツを通じた健康づくりを推進することにより、新たな活力の創出を目指すゾーン。

- 考えられる公共施設
- 市民ホール 運動施設 等



④安全・安心交流ゾーン
(中央公園周辺)

激甚化・頻発化する自然災害から市民の大切な命と財産を守るための防災拠点としての機能を兼ねた市民交流ゾーン。

- 考えられる公共施設
- 屋外運動場 防災公園 等



又は

⑤多世代ふれあい交流ゾーン
(JR大金駅周辺)

既存の公共施設に加え、南那須庁舎の跡地を最大限に活用し、市内外を問わずどこもから高齢者まで多世代が活発に活動できるゾーン。

- 考えられる公共施設
- 公園(防災公園) イベント広場 駐車場 等



⑥賑わい交流ゾーン
(山あげ会館及び清水川せせらぎ公園周辺)

新たな魅力づくりによる交流人口の増加を図るとともに、子育て世代や高齢者の利活用による賑わいの創出を目指すゾーン。

- 考えられる公共施設
- 山あげ会館 清水川せせらぎ公園 等



⑦新たなふれあい交流ゾーン
(JR烏山駅周辺)

JR烏山駅を中心に、幅広い世代が双方向から交流できる新たな「ふれあいの拠点」を整備するとともに、交通の結節点としての機能向上を目指すゾーン。

- 考えられる公共施設
- 新庁舎 子育て施設 図書館 市民ホール 運動施設 等



⑧広域交流ゾーン
(烏山南公民館及びすくすく保育園周辺)

国道294号線沿線という好立地条件を最大限生かし、将来的な広域観光拠点として交流人口の増加を目指す新たなゾーン。

- 考えられる公共施設
- 道の駅 等

